

■開催概要

平成27年10月に策定した「五泉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」の推進にあたり、各事業の評価・検証を行うことを目的として開催しました。

意見交換では、総合戦略に登載した事業のうち、平成28年度に実施した「地方創生推進交付金（加速化交付金）」の対象となる2事業について評価・検証を行いました。

日時	平成29年8月1日（火）午後2時～4時30分
会場	五泉市役所4F 401会議室
参加委員	15名（産学官金労言士の各分野計20名構成）
内容	1. 開会 2. あいさつ 3. 会長・副会長の選出 4. 説明 （1）五泉市総合戦略について （2）総合戦略の取組状況について （3）検証方法について 5. 意見交換 「各施策の方向性・取組みについて」 6. 閉会

■実施状況



市民検討委員会の様子

■意見交換「市民検討委員会における効果検証について」

事業名	意見
1. 五泉ニット地域ブランド化事業	ニット組合では人材、地域活性化、新規開拓、PRということで4つの分科会で連携して地域ブランド化を進行している。4つの分科会の活動により、全国からニットを作りたいという人を雇用することによって、地域活性化、人口増、生産額の増に繋がると考えられる。
	ニットフェスで工場見学を行うことによって、従業員への刺激、ニットを知ることによって働きたいという人が現れたりしているので、両方にとっていい取組みだと思う。
	ニットフェスについて、PRや工場見学など他産地ではここまで取り組まれていないので、素晴らしい取組みだと思う。しかし、一部の企業は盛り上がっているが、一般市民はいつもと変わらない感じなので、五泉市全体の街ぐるみ感が乏しかったと感じる。そこが今後の課題と思う。
	五泉ニットのロゴが確立され、県内外・海外へPRして五泉ニットの価値を高めていく、その一つの大きな布石を今回実現したので、ますますの活躍を期待する。
	ブランド化というところでは海外の評価も大変重要になってくると思う。
2. The Gosen brand ごせん桜アロマ事業	開発した商品について、他の一般的にあるそういった商品と比較して選ばれるための売りが必要だと思う。また、この事業で商品販売と集客をうまくリンクさせるよう考えてもらいたい。
	なにもやらないより非常にいい。ただし、本腰でやるために開発・製造・販売のノウハウを持った人と協力し行ってほしい。税金を投入するわけなので、毎年赤字を出す訳にはいかない。費用対効果などを考えて取り組んでもらいたい。
	観光客が来たときのお土産として、ハンドクリームだけでは手が出しにくいので、おまんじゅうなど手の出しやすい食品を考えてもいいのでは。
	市外から来た人からすると、桜というと”村松の桜”が知名度がある。村松の言葉も入れてはどうか。
	抗酸化作用とリラクゼーションを商品にうたいにくいようではあるが、桜から初めてエキスがとれたということで、上手にPRしてほしい。
商品を作って儲けようとしているのか、客寄せのための目玉商品を作ろうとしているのか、その辺を事業ベースにどのようにのせるのか、もう少し詰めて検討する必要があると思う。	